



大空に人花心育むまち

令和7年度

大空町 小中一貫教育の ガイドライン



9年間一貫した教育

女満別地区



女満別小学校



女満別中学校

東藻琴地区



東藻琴小学校



東藻琴中学校

令和7年3月

大空町教育委員会

も く じ

□はじめに ～ 大空町の小中一貫校とは ～	1
□大空町小中一貫教育基本方針	2
□大空町小中一貫教育グランドデザイン	6
□生活・学習のめあて	7
□重点教科のカリキュラム	
【総合的学習の時間】	
○育てたい資質	8
○単元配列表	9
【体 育】	
○育てたい資質	11
○単元配列表	12
【外国語】	
○大空町の英語教育について	14
○育てたい資質	18
○単元配列表	19
○Can do list	21
□実践事例集	
○【小中連携】中学校体験学習・乗り入れ授業	23
○【小中連携】教育課程の接続	24
○【小中連携】学習・生活のめあて	25
○【小中連携】特別支援教育	26
○【小中連携】小学校における一部教科担任制	27
○【幼小連携】幼小交流学习	28
○【小小・中高連携】芸術文化鑑賞	29
○【教職員連携】授業参観	30
○【教職員連携】小中合同教員研修	31
○【教職員連携】学校評価	32
○【教職員連携】小中一貫教育推進委員会	33
○【その他】地域との連携・協働（CS・PTA）	34

は じ め に

大空町は、令和7年4月から、各地区の小中学校で小中一貫校として教育活動を進めます。実施に当たり、大空町のめざす教育の姿や何がどのように変わるのかをまとめました。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

小中一貫校とは

9年間一貫した教育を行います

現在の小学校・中学校の形態はそのまま維持し、これまで小中学校間であった壁をなくし、義務教育9年間を見通した計画的・継続的な切れ目のない教育課程を編成し実施します。

実施形態

- ・小学校6年間・中学校3年間の6・3制は変わりません。
- ・小学校、中学校にそれぞれ校長・教頭を置く施設分離型で実施します。
- ・学校行事（運動会、学芸会）は、従来どおり小学校、中学校で別々に開催します。

導入の目的

女満別地区、東藻琴地区における小中学校の教職員が学力観、指導観、評価観を共有し、小中学校9年間を通じた教育課程を編成し、一貫した学習指導、生活指導を行うことにより、めざす資質能力を高めるとともに、中一ギャップの解消を図ります。

さらに、認定こども園で育てたい姿や大空高校で目指す姿である『飛行機人(びと)』という像をふまえた大空町の特色を生かした一貫教育を進めることで、幼児教育から高等学校教育までをなだらかなスロープでつなぐことができます。

めざすもの

**主体性
協働性
自尊心**

主体性 … 自己の未来(夢・目標)を見つけ、主体的に取り組む子ども
協働性 … 協働的な学びを通じて、存在を認め合える子ども
自尊心 … 自己の肯定感・有用感をさらに高める子ども

実施内容

具体的な取組

① 9年間のつながり
のある指導

学習指導

- 中学校体験学習 ～ 小学校6年生が中学校を訪問し、授業や部活動を体験し、中学校生活への見通しをもてるようにします。
- 乗り入れ授業の充実 ～ 中学校の先生が小学校で授業を行います。
- 小中合同の教職員研修の実施 ～ 協働的な学びの在り方や、ICTの効果的な活用についての研修を通して、授業スタイルの段差を縮減させます。

学習・生活のきまり

- 小中学校9年間を見通した学習・生活のめあてを作成しました。共通・一貫した指導で変化に戸惑うことなく学校生活をおくることができるようにします。

② 特色ある
カリキュラムの編成

【重点教科】

各教科の「9年間で育む資質・能力」を作成

【外国語】

- 外国語教育(英語)を低学年から系統的に学ぶために、小学校1・2年生は、年間12時間で編成します。

【総合的な学習の時間】

- 「ふるさと教育」を軸につながりのあるカリキュラムを編成します。

【体育】

- 小中で競技の系統性を大事にしたつながりのあるカリキュラムを編成します。

③ 特別支援 教育の充実

多様な教育ニーズへの対応

- 児童生徒の発達支援の連携を深め、切れ目のない支援を行える体制を構築・維持します。

共通・一貫・継続した取組(取組事例集の作成)

大空町小中一貫教育基本方針 <令和5年9月策定>

I はじめに

(1) 小中一貫教育に関する国の動向

平成18年に行われた教育基本法の改正、続く平成19年に行われた学校教育法の改正により、小学校・中学校を通した義務教育9年間の教育の目的・目標が新設され、小学校教育と中学校教育で育まれる子供の資質・能力を意識的につなげていくことが求められました。

また、現行の幼保連携型認定こども園・保育要領、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領において、「学校段階等間の接続」が新たに示され、子供が社会で生きて働く資質・能力を学校教育等で確実に身に付けるために、校種間の連続性を意識した教育活動を行うことが一層求められています。

平成19年	学校教育法の改正により、小学校・中学校を通した義務教育9年間の教育の目的・目標が新設され、小学校と中学校教育で育まれる子供の資質・能力を意識的につなげていくことが求められた。
平成26年	中央教育審議会答申「子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育のシステムの構築について」において、小中一貫教育の制度化や小中一貫教育の質の向上を図るための方策を国が総合的に講じていく必要性が示された。
平成27年	学校教育法の改正により、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が新たな学校種として制度化された。 学校教育法施行規則の改正により、既存の小学校・中学校において義務教育学校に準じて小中一貫教育を行う「小学校併設型中学校」及び「中学校併設型小学校」が位置付けられ、国の制度に基づき小中一貫校を設置できるようになった。
平成29年	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園・保育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領において、「学校段階等間の接続」が新たに記載された。
平成30年	高等学校学習指導要領において、「学校段階等間の接続」が示された。

(2) 大空町の小中一貫教育の取組

大空町では、第2次大空町教育推進計画において、学びをつなぐ学校づくりの実現に向け、「学校段階間の連携・接続の推進」を掲げてきました。これまで、各小中学校では、義務教育9年間を通じて子供に必要な資質・能力を育むための小中一貫教育の導入に向けた資料収集や研修を推進してきました。

大空町の教育(2019年度～2023年度)

第2次大空町教育推進計画

基本理念 つながる…つなげる教育を推進し、学び続ける人を育てます
ひろがる…ひろがる教育を推進し、未来を切り拓く人を育てます

基本目標4「学びをつなぐ学校づくりの実現」

施策目標20「学校段階間の連携・接続の推進」

- ◇ 中学校区内における小中学校において、義務教育9年間を通じて子供に必要な資質・能力を育むための小中一貫教育の導入に向けた資料の収集や研修を推進します。
- ◇ 幼小接続、小中一貫、中高連携、幼小中高連携教育に進展する取組を推進します。
- ◇ 学校間の横の連携を深めるため、情報交流、授業公開、研究協議などの取組の充実を図ります。
- ◇ 異校種間の交流を図り、幼児児童生徒の交流と教職員の交流を推進します。

用語解説

【中学校区】当該中学校に通学する児童・生徒の居住地について、中学校別の通学範囲となる「通学区域」をいう

2 大空町における学校段階等間の連携・接続の現状と課題

(1) 「郷土に誇りをもつ自立した人づくりの重要性」

大空町では、地域や関係機関の協力を得て、様々な体験活動を実施しています。

空や景観など大空町のすばらしさを認識することや、農業体験を繋げていくことなどを通して、子供たちが郷土に誇りをもって、社会の一員として自立していくことができる人づくりが大切です。

そこで、以下について一層取り組む必要があります。

- ① 総合的な学習の時間などで、学びを系統的につなげる。
- ② 地域の教育力を積極的に取り入れる。

(2) 「学びの不連続性」の解消

これまでも、小中連携した様々な取り組みを進めてきました。例えば、児童生徒が進学する際の引き継ぎや乗り入れ授業、授業公開、研究協議など教育環境の向上や持続的な確保が図られてきています。一方で、次のような「学びの不連続性」を解消するための取組が求められています。

- ① 小中の授業スタイルや生活スタイルなどの環境変化が、いわゆる中一ギャップにつながる可能性がある。そのため、学習方法や学習習慣等の定着に向けた系統的な指導を行う。
- ② 冬季スポーツなど体育の取組を小中で系統的につなげて、継続的に体力づくりをする。
- ③ 通級指導教室を中学校にも設置するなど特別支援教育の支援体制をつなげることで、登校や発達などに不安を抱える児童・生徒の教育的ニーズに応じて一層細やかに支援する。
- ④ これまで外国語指導助手の2名体制を実施し、子供たちが生きた英語に触れる機会を確保するなど国際理解教育の充実に取り組んでいるが、一層系統的に学びをつなげる。



◆大空町の特色を生かした一貫教育を進めます

- 各地区の小中学校を小中一貫校として整備し、認定こども園・高校とつなげます。
- 『大空町学校教育研究会』は、これまでも小中高校と認定こども園の教職員が相互の連携を深め教育の振興・充実に図ってきています。この強みを生かし、取組を進めます。

3 大空町の小中一貫教育

大空町には、それぞれの地区に小学校と中学校が1校ずつあり、認定こども園も各地区にあります。

また、大空高校も町の最高学府として魅力化を図っています。そこで、各地区の小中学校を小中一貫校として整備し、認定こども園や高校とつなげる、大空町の特色を生かした一貫教育を進めます。幼児教育で育てたい姿をふまえて小学校へつなぎ、小中学校では大空高校で目指す姿である『飛行機人^{びと}』という像も理解しつつ、それぞれの接続のハードルを小さくし、なだらかなスロープとしながらつないでいきます。

用語解説

【中一ギャップ】中学校に入学したばかりの生徒が、環境の変化や学習内容の変化になじむことが出来ず、不登校になったり、いじめなどの問題が発生したりする現象

【通級指導教室】小学校、中学校などで通常の学級での学習や生活におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、普段は通常学級に在籍しつつ、障がいに応じた特別の指導を「通級指導教室」といった場で行う特別支援教育の形態の一つ

飛行機^{びと}とは、

グライダーのように風を頼って飛ぶのではなく、自身のエンジンを推進力として力強く大空に飛び上がる人をイメージしています。

大空高校設立に当たり、「主体的に学び続ける意欲をもつ人づくり」を願う多くの町民の思いが込められています。

大空高校

スローガン

～世界と地域をつなぐ大空で 路を切り拓く飛行機^{びと}になる～

大空高校ではぐくむ4つの資質能力

主体性 社会性 協働性 探究力

飛行機^{びと}

女満別地区

女満別小学校
女満別中学校

小中一貫校

東藻琴地区

東藻琴小学校
東藻琴中学校

9年間で伸ばす資質能力

主体性 協働性 自尊心

認定こども園めまんべつ

認定こども園ひがしもこと

つながる笑顔 広がる笑顔 生きる力の根っこを育む

じぶんでかんがえる子

おもいやりのある やさしい子

あかるく げんきな子

おいしく たべる子

大空町の目指す『小中一貫校』とは

大空町では、現在の小学校・中学校を存続した形で、各地区で一貫した教育を進めます。

一貫教育に必要な重点教科の設定や指導内容の入替え・移行が可能になり、大空町らしい教育を進めることができます。これまでの小・中学校の取組をもとに、9年間一貫した教育課程により、新たな教育を目指します。

9年間一貫した教育

女満別地区



女満別小学校



女満別中学校

東藻琴地区



東藻琴小学校



東藻琴中学校

4 大空町の小中一貫教育の具体的な取組

小中高等学校及び認定こども園の教職員で構成された大空町学校教育研究会において、小中及び認定こども園と大空高校の接続について協議し、取組を充実・発展させていきます。

(1) 系統性・連続性を踏まえたつながりのある指導

- ①教科等の学習指導
- ②義務教育9年間を見通した家庭学習の取組
- ③学習規律・生活規律の定着

(2) 大空町独自の一貫性のある教育課程の編成

とりわけ以下を重点として、大空町らしい教育の実現を目指します。

- ①【外国語教育】認定こども園・小学校低学年から英語教育の早期導入及び系統的なカリキュラム編成
- ②【総合的な学習(探究)の時間】これまで取り組んできたふるさと教育の充実及び学校間での連携・継続
- ③【体育】発達の段階に応じた指導内容の継続

(3) 特別支援教育の充実

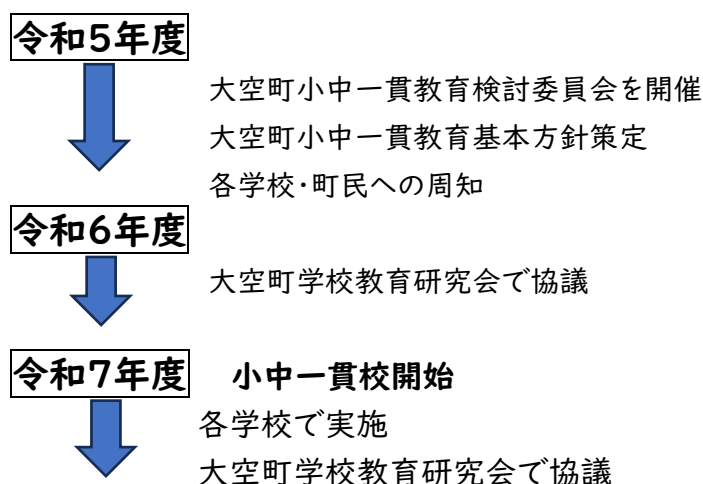
- ①小中高等学校及び認定こども園の教職員の一貫した指導・支援

5 大空町の小中一貫教育の評価・検証

大空町ならではの小中一貫教育を充実・発展させていくには、取組を適切に評価・検証して進めることが重要です。評価にあたっては、各学校で実施している学校評価や学校運営協議会等を活用しながら進めます。

6 大空町の小中一貫教育の実施のスケジュール

大空町の小中一貫教育は、小中高等学校及び認定こども園の教職員で構成された大空町学校教育研究会で協議し、各学校で取組を進めていきますが、一定の検討期間が必要です。大空町小中一貫教育基本方針策定後から令和5年度末までを各学校・町民への周知期間とし、令和6年度は大空町学校教育研究会での協議期間とします。令和7年度から大空町の小中一貫教育を実施します。





大空町小中一貫教育グランドデザイン

小・中学校 9 年間で高める資質能力（大空町小中一貫教育基本計画）

- 〔主 体 性〕 自己の未来（夢・目標）を見付け、主体的に取り組む子ども
- 〔協 働 性〕 協働的な学びを通じて、存在を認め合える子ども
- 〔自 尊 心〕 自己の肯定感・有用感をさらに高める子ども

大空町の特徴を生かした小中一貫教育

〈取組の柱〉

系統性・連続性を踏まえたつながりのある指導

- 教科等の学習指導
- 義務教育9年間を見通した家庭学習の取組
- 学習規律・生活規律の定着

大空町独自の一貫性のある教育課程の編成

【重点教科】

- 外国語教育（認定こども園からの系統的な指導）
- 総合的な学習の時間（ふるさと教育の継続）
- 体育（発達の段階や地域に応じた指導内容の継続）

特別支援教育の充実

- 子ども理解・多様な教育ニーズへの対応
- 小中教職員の一貫した指導・支援

小中学校9年間を見通した
学習習慣・生活規律

小中の円滑な接続に向けた
中学校体験学習

〔外〕こども園からスタートする
英語教育の充実

〔総〕小中の学びをつなぐ・
貫く「ふるさと教育」

〔体〕運動を楽しむ体育指導
小・高を貫くカリキュラム

特別支援教育の視点を生か
した集団づくり・授業づくり

大空町の学校をつなぐ取組 〈学校種間連携〉

大空町小中一貫教育推進委員会 大空町学校教育研究会 大空町教育支援委員会 小中合同研修会



女満別地区



女満別小学校



女満別中学校

東藻琴地区



東藻琴小学校



東藻琴中学校



『大空町小中一貫教育』 ～9年間で育成をめざす子どもの姿～

みんなで育む【15の春の子ども像】



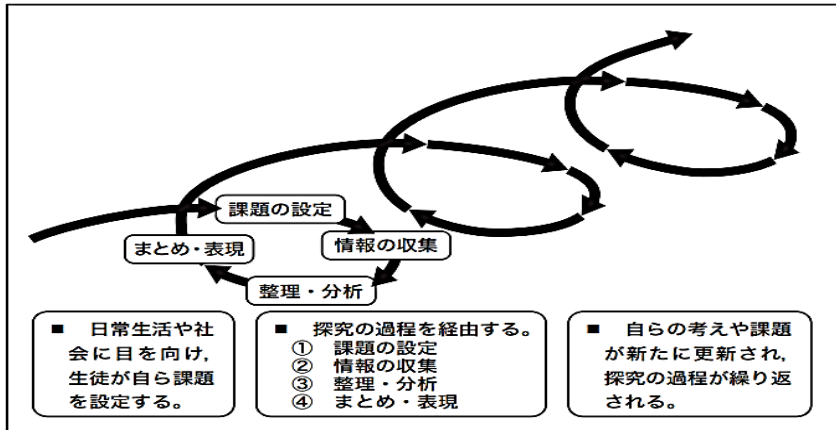
生活のめあて		小学校1・2年生	小学校3・4年生	小学校5・6年生 中学校1年生	中学校2・3年生 【15の春の子ども像】
家庭	生活リズム	早ね・早おき・あさごはん そとで あそぶ	生活リズムを ととのえる 日の光を浴びて運動する		3食& 規則正しい生活 日の光を浴びて運動する
		9～11じかんすいみん ねるまえのつよいひかり×		8～10時間すいみん ねる前スマホ×	7～8時間睡眠 寝る前スマホ×
	メディア との関わり	かていで はなしあった やくそくをまもる		相手への 影響を 考えて使う	情報モラルを守り メディアと関わる
学校	思いやりの心	みぢかにいる人に しんせつに する	あい手のことを思いやり 親切にする	相手の立場に立って すすんで親切にする	多くの人に支えられて成長 してきたことを自覚し、 思いやりの心をもつ
	自分で考え 行動する力	わがままをしない	よく考えて行動する	自ら考え行動し、節度 と責任のある生活をする	自分の行いが及ぼす影響を 考え、責任ある行動をとる
	整理整頓	つくえやロッカーのせいり せいとんができる	きょう力して教室内の せい理せいとんができる	身の回りの整理整とん 校内の整理整とんを 協力してできる	身の回りの整理整とん 校内の整理整とんを 責任をもってできる
	あいさつ 返事	目をみてげん気よく あいさつやへんじができる	あい手につたわるように あいさつやへんじができる	気持ちの良い あいさつや返事ができる	時と場に応じた気持ち良い あいさつや返事ができる

学習のめあて		小学校1・2年生	小学校3・4年生	小学校5・6年生 中学校1年生	中学校2・3年生
家庭	準備	いえの人といっしょに がくしゅうのよういをする	自分で 時間わりを かくにんし 学しゅう用ぐを じゅんぴする		自分で明日の学習用具を 準備する
	復習・予習 自主学习	べんきょうしたことを ふくしゅうしてみる	ふく習を 習かんにする	予習、ふく習を行う 自主学习を行う	予習・復習・自主学习を 工夫して積極的に行う
学校	準備	つぎのじかんのじゅんぴをして やすみじかにする		つくえの上に学習の準備を整え じゅ業の内容を確認し、先生が来るのを待つ	
	聞く	足はべったん おなかとせなかは グーひとつ	正しいせいで聞く	正しい姿勢で聞く 必要に応じてメモを取る	
		きょうみをもってきく	話の中心に気をつけて聞く しつもんし、かんそうを のべる	意図をとらえながら聞く 自分の意見と比べる	目的や場面に応じ、考えを 比べ、評価して聞き、 考えを広げ深める
	伝える	「です」「ます」をつけて はっぴようする	つたわりやすい内ようで はっぴようする	発表する内容を考え 伝わりやすい言葉で 発表する	「私は～だと思えます。 理由は～だからです。」と 最後まで話す
		あい手におうじて はなすことがらを じゅんじよく ていねいなことばで はなす	あい手におうじて 理ゆうやじれいなどを あげながらすじ道を立てて てきちな言ばづかいで 話す	事がらを明確に 伝わるように 話の内容を 工夫しながら話す	立場や考えの違いに応じて 話す相手の立場を尊重し 考えを広げ深めて 課題解決に向けて話し合う
	書く	ただしくすわり マスの中に ていねいなもじで 大きく、つよくかく	しせいを正して ていねいな文字で書き 大じなところには しるしをつける	板書の内容を ていねいに記入し 文字の大きさや色分けを 工夫して見やすく書く	大事なところは 色分けしたり メモを書き加えたり ノートを工夫して書く

大空町小中一貫教育で育む資質・能力 【生活科・総合的な学習の時間】

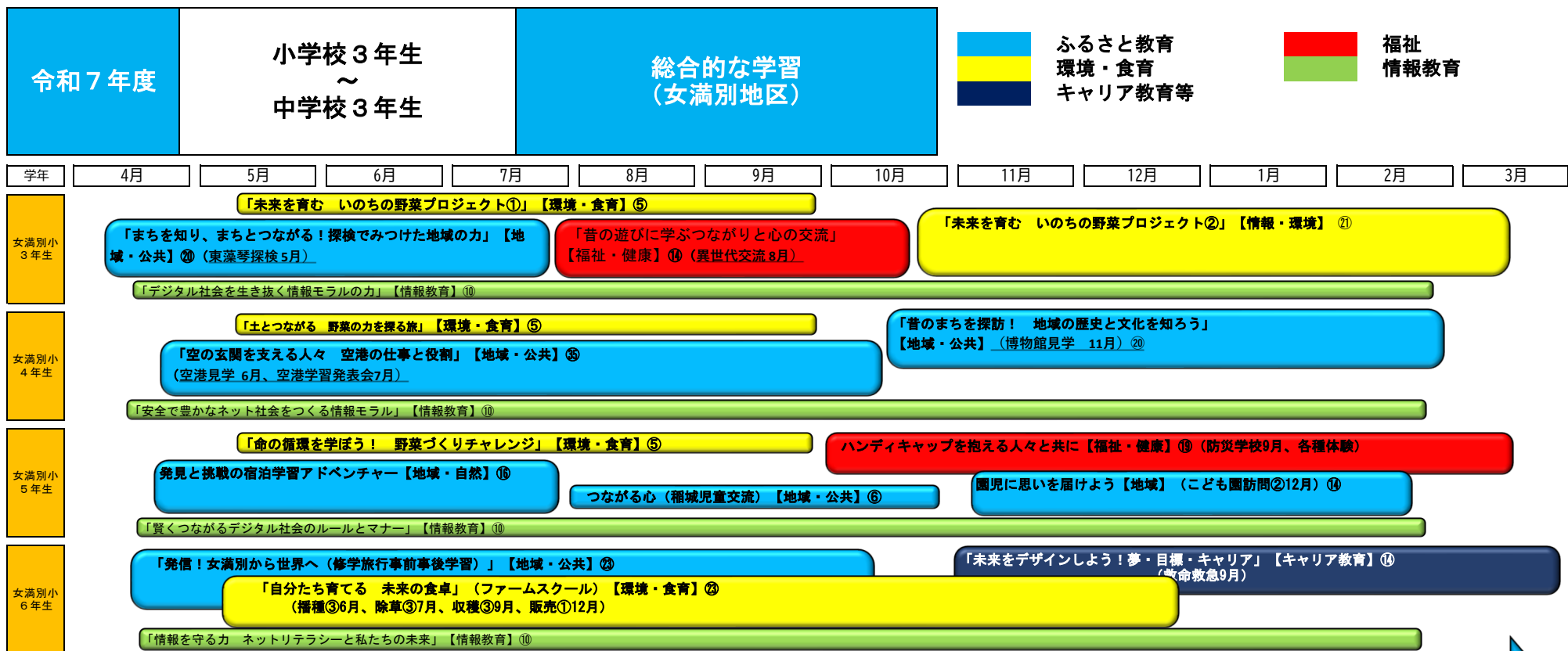
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9年間で目指す 子どもの姿	活動や体験自体の楽しさを味わいながら課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、よりよく課題を解決する力の基礎を身に付けていく姿								
			活動や体験の面白さに触れ、能力に応じた課題に気付き・発見しながら、解決に向けて思考・判断し、他者に伝えていくことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考える楽しさや喜びを味わう姿						
					地域社会がもつ価値を知り、地域社会の面白さに触れ、他者との関わり合いを通して、多様な生き方や考え方に触れ、自らこだわりをもって社会に関わる姿				

小⇒中の学びをつなぐ・貫く 大空町のふるさと教育 ～自己選択や自己決定を繰り返しながら深く考え、主体性をもって自ら動き出す子の育成～

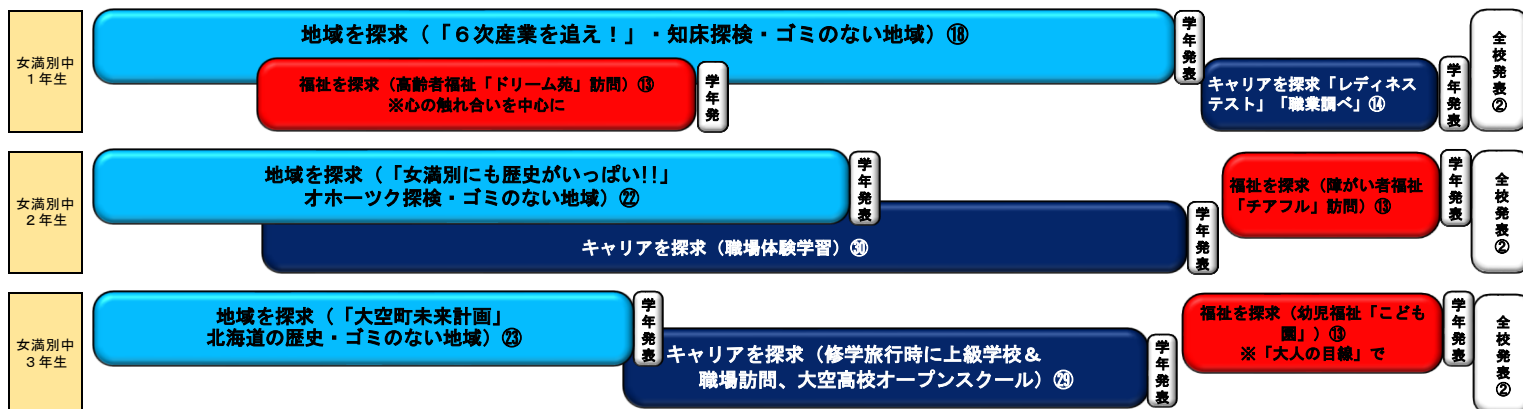
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	見方・考え方
知識・技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付いているとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。	各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること。
思考・判断・表現	自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動により分析的に考え、気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法により他者と伝え合ったり振り返ったりしている。	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する			
主体的に学習に取り組む態度	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとしたり、生活を豊かにしたりしようとしている。	<div></div>			
見方・考え方	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする				

探究的な学習における児童生徒の学習の姿

探究的な学習における児童生徒の学習の姿



小⇒中の学びをつなぐ・貫く 大空町のふるさと教育





大空町小中一貫教育で育む資質・能力 【体育・保健体育】

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9年間で目指す 子どもの姿	運動すること自体の楽しさを味わいながら、基礎的な運動や健康の知識や技能を身に付け、各種の運動能力の基礎を身に付けていく姿								
			運動の面白さに触れ、能力に応じた課題に気づき・発見しながら、解決に向けて思考・判断し、他者に伝えていくことを通して、運動の楽しさや喜びを味わう姿						
					運動がもつ価値を知り、運動の面白さに触れ、他者との関わり合いを通して、多様な楽しみ方を味わい、自らこだわりをもって運動に関わる姿				

小⇒中の学びをつなぐ・貫く 大空町の体育・保健 ～体育運動の面白さに触れ、多様な運動を味わい、自ら運動と関わる子の育成～

知識・技能	各種の運動遊びの行い方について知るとともに、基本的な動きを身に付けている。	各種の運動の行い方について知るとともに、基本的な動きや技能を身に付けている。また、健康で安全な生活や体の発育・発達について理解している。	各種の運動の行い方について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、健康で安全な生活を営むための技能を身に付けている。	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解するとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	選択した運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解するとともに、選択した領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	各種の運動遊びの行い方について工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。	自己の運動の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。また、身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。	自己やグループの運動の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。また、身近な健康に関する課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動している。	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をしている。また、健康の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組んでいる。	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をしている。また、健康・安全の大切さに気づき、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組んでいる。	運動における競争や協働の経験を通して、仲間の学習を援助したり、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしたり、話し合いに参加しようとしたりして、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動しようとしている。	運動における競争や協働の経験を通して、互いに助け合い教え合おうとしたり、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしたり、話し合いに貢献しようとしたりして、健康・安全を確保し、生涯にわたって運動に親しもうとしている。
見方・考え方	運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること。				

体育
保健体育
(女満別地区)

- ※スキー
武道 (F)
体育理論 (H)
- ←中 ; G ダンス

小⇒中の学びをつなぐ・貫く 大空町の体育・保健体育

-12-

大空町の外国語教育について ～英語教育を通して育む力とそのための授業づくり

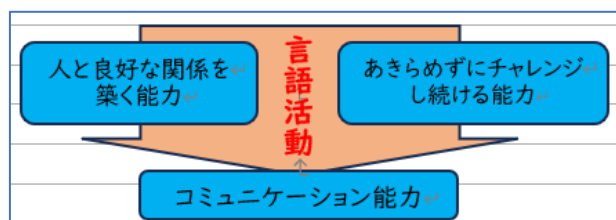
大空町教育委員会

1 大空町の目指す外国語教育のねらい

外国語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

コミュニケーション能力の育成には、「人と良好な関係を築く能力」の育成が欠かせない。

また、外国語の習得は容易ではなく、地道に根気強く学び続けたり、苦手な場面と向き合ったり、恥ずかしい気持ちと闘いながら一歩を踏み出す「あきらめずにチャレンジし続ける能力」の育成も重要である。



外国語による見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて情報を整理しながら考えなどを形成し再構築すること

2 小中一貫して目指す児童生徒像

外国語がもつ面白さに触れ、多様なコミュニケーションを味わい、自ら外国語と関わる児童生徒

3 育む資質・能力

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中学校		外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。
小学校	高学年	外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づき、話すこと、聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。
	中学年	外国語を通して言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語の違いに気づくとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。	身近で簡単な事柄について外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う。	外国語を通して言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。
	低学年	外国語による活動を通して先生や友達と一緒に簡単な英語のゲームや会話遊びを楽しもうとする（自己紹介、簡単な挨拶、数、天気、曜日、食べ物、動物、体の部位、色、形などの表現を用いる活動）		

4 授業づくりで留意すること ※小中にわたって、以下の点に留意した授業づくり・教育環境づくりを行う。

外国語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

(1)	体験的に覚える	言語・文化だけにとどまらず、その習得過程で必要な能力を、様々な活動を意図的に取り入れることで体得し、自分で予想し、考えて行動できるようにする。
(2)	聞く力の体得	・大まかに聞き取る(あいまいさを許容する力)。 ・集中して聞く(目・耳・頭・心を使って聞く習慣づけ)。
(3)	全員参加の原則	・全員参加しなければならないという雰囲気は、苦手でも挑戦せざるをえない覚悟ができる。 参加するうちに環境に慣れ、全員参加できるようになっていく。 また、一体感が生まれ、学級の雰囲気が良くなっていく効果もある。 ・全員が参加できるようにする様々な配慮は Diversity & Equality(多様性と平等)の感覚を育てることにもつながる。
(4)	認め合う関係の構築	・意図的に場面を設定する。 ・発達段階を意識して small step で学年に応じた活動を行う。
(5)	助け合い、高め合う関係の構築	
(6)	一人で言わなければならない必然性	
(7)	人前で発表することに慣れる	
(8)	友達との交流に慣れる	・「わからない・間違う」ことは悪いことではない。 ・「深く理解する」ためには、むしろ重要であることを理解させる。 ・子どもたちのつぶやきを活用した授業は児童の「主体性」を引き出すのに有効。
(9)	気づいたこと・不思議に思ったことを出し合える雰囲気をつくる	
(10)	ねらいの明確化と評価規準・方法の確立	・can do list の作成と活用 ・パフォーマンステストの効果的・効率的な実施
(11)	統合的に英語を活用する場面の設定	・インタラクティブな活動 ・スピーチやプレゼンテーション ・まちなか留学等のイベント ・ホームステイ、スカイプ授業等、外国人と直接触れ合う機会

小学校

- ①学びのつながりを大切に、聞く・話す(やりとり・発表)を中心としたコミュニケーション活動を充実させる。
- ②担任等が中心となって授業をすすめ、ALT を積極的に活用するなどして、英語を使って人と関わる喜びや楽しさを味わえるようにする。

中学校

- ①小学校での学習を踏まえ、小中一貫した英語教育を行う。
- ②実際に活用する場面を設定し、4技能を統合した活動を設定する。
- ③オールイングリッシュで授業を行うことを基本とする。
- ④CAN DO リストを活用し、「できること」が積み上げられる授業を行う。

5 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

小学校第1学年から中学校第3学年において小中9年間一貫した英語教育を行うため、小学校第1学年と第2学年において、外国語活動『えいご』を実施する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本町では、「学びのつながり」と「生徒指導の継続」をキーワードに、各中学校区における小中学校を連携型小中一貫校とし、小中一貫教育を推進する。

英語教育においては、令和7年度より、第1学年、第2学年のみ特別の教育課程を編成し、外国語に慣れ親しみながら小中9年間の学びのつながりを踏まえた指導の充実を図る。

(3) 期待される効果

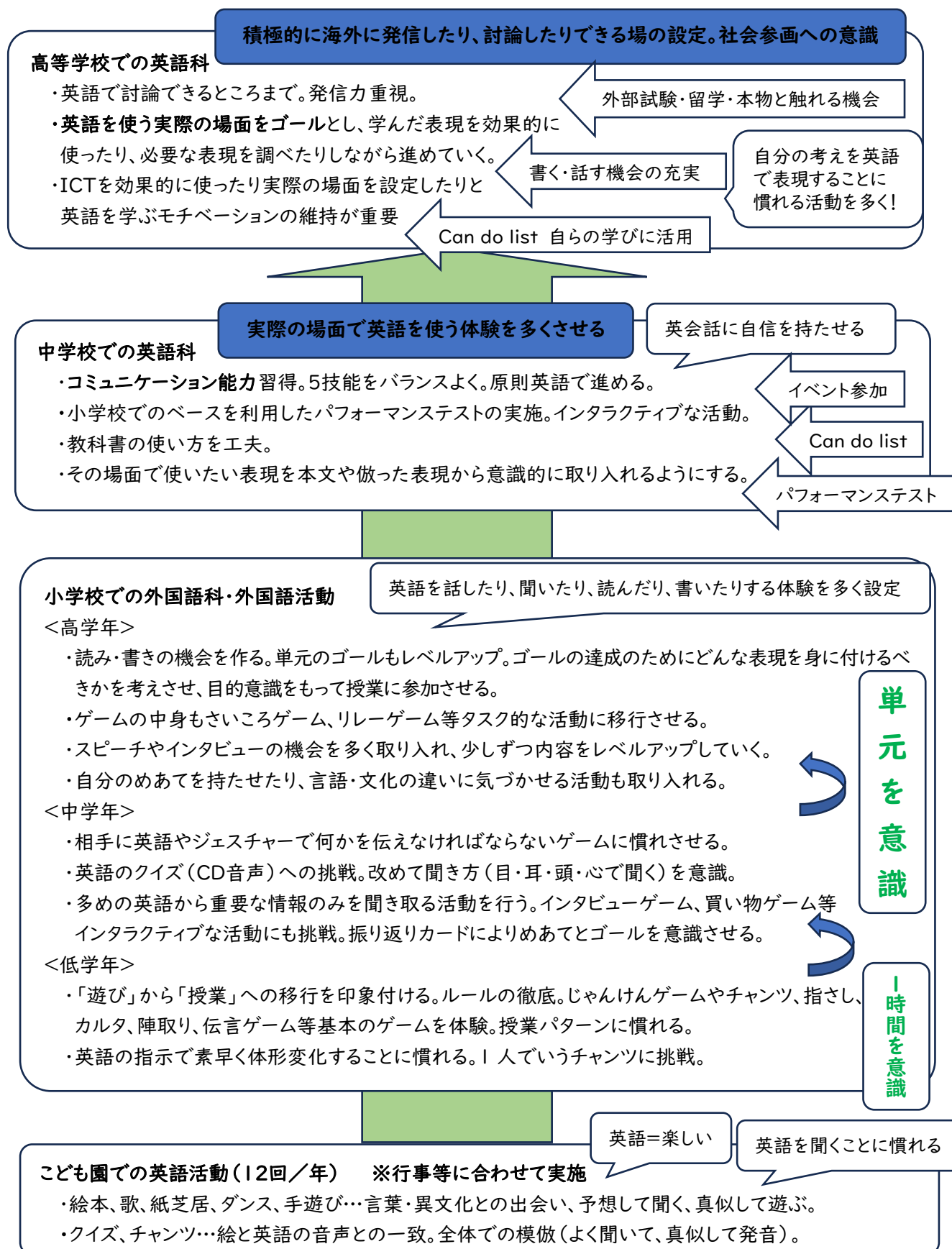
「外国語活動」において、特別の教育課程を編成・実施して、各学年の指導計画を整備し、発達段階に応じた指導を系統的に行う。小学校低学年からALTと触れ合う体験をできるだけ多く確保し、ネイティブの英語に触れる機会を重ねながら、中高学年、そして中学校へと継続的に学習を展開することができる。このことにより小中学校9年間を見通した社会に開かれた教育課程を実施し、本町で目指す「主体性」「協働性」「自尊心」に満ちた子どもの育成を推進することができる。

(4) 配当時数

	国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	家 庭	体 育	道 徳	特 別 活 動	学 習 の 時 間 総 合 的 な 時 間	外 国 語 活 動 ・ 外 国 語 科	総 授 業 時 数
第1学年	306		136		102	68	68		102	34	34		12 (+12)	862 (+12)
第2学年	315		175		105	70	70		105	35	35		12 (+12)	922 (+12)
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	70	35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	70	35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70	1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70	1015

※総授業時数は35×2(1年生は34×2)時間を超えないことに配慮する。

こども園から高校までつなぐ外国語教育の体系図



大空町小中一貫教育で育む資質・能力 【外国語活動・外国語】

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
9年間で目指す 子どもの姿	外国語を使うこと自体の楽しさを味わいながら、基礎的な外国語の知識や技能を身に付け、コミュニケーションの基礎を身に付けていく姿								
			外国語がもつ面白さに触れ、能力に応じた課題に気付き・発見しながら、解決に向けて思考・判断し、他者に伝えていくことを通して、コミュニケーションの楽しさや喜びを味わう姿						
						外国語がもつ価値を知り、外国語の面白さに触れ、他者との関わり合いを通して、多様な楽しみ方を味わい、自らこだわりをもって外国語に関わる姿			

小⇒中の学びをつなぐ・貫く 大空町の外国語教育 ～外国語がもつ面白さに触れ、多様なコミュニケーションを味わい、自ら外国語と関わる子の育成～

知識・技能	外国語による活動を通して、先生やお友達と一緒に簡単な英語のゲームや会話遊びを楽しもうとしている。 (自校紹介、簡単な挨拶、数、天気、食べ物、動物、体の部位、色、昆虫、気持ちを表す英語を使った活動)	外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。	外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現		身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度		外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
見方・考え方		外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。		

令和7年度	小学校1年生 ～ 中学校3年生	外国語活動 外国語 (女満別地区)
-------	-----------------------	-------------------------

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生		Unit 1 ② greeting & weather		Unit 2 ② food & drink		Unit 3 ② fruit		Unit 4 ② animal		Unit 5 ② body parts		Unit 6 ② numbers 1-12
2年生	Unit 1 ② color		Unit 2 ② clothes		Unit 3 ② insects		Unit 4 ② vegetables		Unit 5 ② feeling		Unit 6 ② numbers 13-20	
3年生	Unit 1 ②	Unit 2 ② How are you?	Unit 3 ④	Unit 4 ④		Unit 5 ④ What do you like?	Unit 6 ④ ALPHABET	Unit 7 ⑤ This is for you.		Unit 8 ⑤ What's this?		Unit 9 ⑤ 2年生に読み聞かせ Who are you?
4年生	Unit 1 ② Hello, world!	Unit 2 ④ Let's play cards.	Unit 3 ③	Unit 4 ④		Unit 5 ④ Do you have a pen?	Unit 6 ④	Unit 7 ⑤		Unit 8 ④		Unit 9 ⑤
5年生	Lesson 1 ⑧ Hello, everyone.	Lesson 2 ⑧ When is your special day?	Lesson 3 ⑧ What do you have on Mondays?	Check 1 ② our world	Lesson 4 ⑧ I can draw pictures well.	Lesson 5 ⑩ Where is the station?	Lesson 6 ⑥ What would you like?	Check 2 ② our world	Unit 7 ⑧		Lesson 6 ⑧ My Hero	Check 3 ② our world
6年生	Lesson 1 ⑧ This is me.	Lesson 2 ⑧	Lesson 3 ⑧ What time do you get up?	Check 1 ① our world	Lesson 4 ⑩	Lesson 5 ⑧	Lesson 6 ⑩ My Best Memory	英検 ESG ①	Check 2 ① our world	Lesson 7 ⑥ My dream.	Lesson 8 ⑧ 乗入 or コラボ	Check 3 ① our world

小⇒中の学びをつなぐ・貫く 大空町の外国語教育

中1年生	Orientation ② Get Ready ⑥	Program 1 ⑧ 友達を作ろう	Program 2 ⑧ 1-8の生徒達	Program 3 ⑧ タレントショーを開こう	Our project 1 ⑧ あなたの知らない私	Program 4 ⑥ Let's Enjoy Japanese Food.	Program 5 ⑧ Pajama Day	Program 6 ⑧ The Way to School	Program 7 ⑫ Research on Australia	Our project 2 ⑥ この人を知っていますか	Program 8 ⑧ Happy New Year!	Program 9 ⑫ A Trip to Finland	Program 10 ⑩ Grandma Baba's Warming Ideas!	Our Project 3 ⑥ 私が選んだ1枚
	学力テスト②+2	チャレンジテスト+1		中間テスト+1	チャレンジテスト+1	期末テスト+1				中間テスト+1	チャレンジテスト+1		期末テスト+1	学力テスト+1
中2年生	Program 1 ⑧ New Start	Program 2 ⑫ Koshien Project in Africa	Program 3 ⑧ Taste of Culture	Our Project 4 ⑥ 海外でヒット するラーメンのCM作り	Reading 1 ⑥ The three Dolls	Program 4 ⑫ Leave Only Footprints	Program 5 ⑧ Work Experience	Program 6 ⑫ High-Tech Nature	Our Project 5 ⑥ 日本の お勤めスポット紹介	Reading 2 ④ Friendship beyond Time and Borders	Program 7 ⑧ Unique Animals	Program 8 ⑫ A Hope for Lasting Peace	Our Project 6 ⑥ My Heroの魅力を伝える	Reading 3 ⑥ Apollo 13
	学力テスト②+2	チャレンジテスト+1	中間テスト+1	チャレンジテスト+1	期末テスト+1				中間テスト+1	チャレンジテスト+1		期末テスト+1	学力テスト+1	2年のまとめ⑥
中3年生	Program 1 ⑧ Japanese Bentos	Program 2 ⑨ Good Night	Program 3 ⑩ Hot Spot Today	Our Project 7 ⑥ バラスポーツ	Reading 1 ⑥ Meaning of Life	Program 4 ⑧ Sign Languages	Program 5 ⑩ The Story of Chocolate	Program 6 ⑧ The Great Pacific Garbage Patch	Our Project 8 ⑦ SDGsの取り組み提案	Program 7 ⑨ Robots can Improve Quality of Life	Reading 2 ⑤ Malala's Voice	Special Project ⑥ 中学校の思い出	Further Reading 1-3 ⑫	3年間の まとめ⑩
	学力テスト②+2	チャレンジテスト+1	中間テスト+1		チャレンジテスト+1	期末テスト+1	総合A+1	総合B+1	中間テスト+1	総合C+1	学力テスト①+1	チャレンジテスト+1	期末テスト+1	

令和7年度	小学校1年生 ～ 中学校3年生	外国語活動 外国語 (東藻琴地区)
-------	-----------------------	-------------------------

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生		Unit 1 ② greeting & weather		Unit 2 ② food & drink		Unit 3 ② fruit		Unit 4 ② animal		Unit 5 ② body parts		Unit 6 ② numbers 1-12
2年生	Unit 1 ② color		Unit 2 ② clothes		Unit 3 ② insects		Unit 4 ② vegetables		Unit 5 ② feeling		Unit 6 ② numbers 13-20	
3年生	Unit 1 ②	Unit 2 ② How are you?	Unit 3 ④	Unit 4 ④		Unit 5 ④ What do you like?	Unit 6 ④ ALPHABET	Unit 7 ⑤ This is for you.		Unit 8 ⑤ What's this?		Unit 9 ⑤ 2年生に読み聞かせ Who are you?
4年生	Unit 1 ② Hello, world!	Unit 2 ④ Let's play cards.	Unit 3 ③	Unit 4 ④		Unit 5 ④ Do you have a pen?	Unit 6 ④	Unit 7 ⑤		Unit 8 ④		Unit 9 ⑤
5年生	Lesson 1 ⑧ Hello, everyone.	Lesson 2 ⑧ When is your special day?	Lesson 3 ⑧ What do you have on Mondays?	Check 1 ② our world	Lesson 4 ⑧ I can draw pictures well.	Lesson 5 ⑩ Where is the station?	Lesson 6 ⑥ What would you like?	Check 2 ② our world	Unit 7 ⑧		Lesson 6 ⑧ My Hero	Check 3 ② our world
6年生	Lesson 1 ⑧ This is me.	Lesson 2 ⑧	Lesson 3 ⑧ What time do you get up?	Check 1 ① our world	Lesson 4 ⑩	Lesson 5 ⑧	Lesson 6 ⑩ My Best Memory	英検 ESG ①	Check 2 ① our world	Lesson 7 ⑥ My dream.	Lesson 8 ⑧ 乗入 or コラボ	Check 3 ① our world

小⇒中の学びをつなぐ・貫く 大空町の外国語教育

中1年生	Orientation ② Get Ready ⑥	Program 1 ⑧ 友達を作ろう	Program 2 ⑧ 1-8の生徒達	Program 3 ⑧ タレントショーを開こう	Our project 1 ⑧ あなたの知らない私	Program 4 ⑥ Let's Enjoy Japanese Food.	Program 5 ⑧ Pajama Day	Program 6 ⑧ The Way to School	Program 7 ⑫ Research on Australia	Our project 2 ⑥ この人を知っていますか	Program 8 ⑧ Happy New Year!	Program 9 ⑫ A Trip to Finland	Program 10 ⑩ Grandma Baba's Warming Ideas!	Our Project 3 ⑥ 私が選んだ1枚
	学力テスト②+2	チャレンジテスト+1		中間テスト+1	チャレンジテスト+1	期末テスト+1				中間テスト+1	チャレンジテスト+1		期末テスト+1	学力テスト+1
中2年生	Program 1 ⑧ New Start	Program 2 ⑫ Koshien Project in Africa	Program 3 ⑧ Taste of Culture	Our Project 4 ⑥ 海外でヒット するラーメンのCM作り	Reading 1 ⑥ The three Dolls	Program 4 ⑫ Leave Only Footprints	Program 5 ⑧ Work Experience	Program 6 ⑫ High-Tech Nature	Our Project 5 ⑥ 日本の お勤めスポット紹介	Reading 2 ④ Friendship beyond Time and Borders	Program 7 ⑧ Unique Animals	Program 8 ⑫ A Hope for Lasting Peace	Our Project 6 ⑥ My Heroの魅力を伝える	Reading 3 ⑥ Apollo 13
	学力テスト②+2	チャレンジテスト+1	中間テスト+1	チャレンジテスト+1	期末テスト+1				中間テスト+1	チャレンジテスト+1		期末テスト+1	学力テスト+1	2年のまとめ⑥
中3年生	Program 1 ⑧ Japanese Bentos	Program 2 ⑨ Good Night	Program 3 ⑩ Hot Spot Today	Our Project 7 ⑥ バラスポーツ	Reading 1 ⑥ Meaning of Life	Program 4 ⑧ Sign Languages	Program 5 ⑩ The Story of Chocolate	Program 6 ⑧ The Great Pacific Garbage Patch	Our Project 8 ⑦ SDGsの取り組み提案	Program 7 ⑨ Robots can Improve Quality of Life	Reading 2 ⑤ Malala's Voice	Special Project ⑥ 中学校の思い出	Further Reading 1-3 ⑫	3年間の まとめ⑩
	学力テスト②+2	チャレンジテスト+1	中間テスト+1		チャレンジテスト+1	期末テスト+1	総合A+1	総合B+1	中間テスト+1	総合C+1	学力テスト①+1	チャレンジテスト+1	期末テスト+1	

3観点：知識・技能 ⇒ S 思考・判断・表現 ⇒ T 主体的に学習に取り組む態度 ⇒ A

	聞く(ゆっくりはっきり話されれば…)	話す		読む	書く
		【やり取り】(自分や身の周りのこと)	【発表】(日常生活・自分のこと)		
6年	S: 身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取れる T: 短い話の概要や要点を捉えることができる A: 話しやすい雰囲気づくり、適切に反応しながら聞こうとする	S: 自分の考えや気持ち、知りたい情報をスムーズに伝え合うことができる。 T: 自分や相手、身の回りのことをその場で質問したり答えたりできる。 A: 相手に必要な配慮を考えて、その場で判断し、対応しようとする。	S: 自分や身近な事柄、将来について、獲得した表現を用いて話せる T: 伝えたい内容を整理し、自分の考えや気持ち、計画、体験を話せる A: 声の大きさ・速さ、発音、視線、身振り等につけて話そうとする	S: はじめの音や母音の発音を意識して読める T: 音声や慣れ親しんだ語句や表現の意味がわかる A: 綴りや発音の関係を推測して読もうとする	S: 語順を意識し書き写せる文の書き方の基本がわかる T: 例文を参考に自分や身近な事について英文が書ける A: 位置やスペースに注意して英文を書こうとしている
5年	S: 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる T: 短い話の概要をだいたい捉えることができる A: 話し手に配慮し、頷き、相槌、アイコンタクトをしようとする	S: 基本的な表現で指示・依頼をしたり、応じたりできる T: 自分の身の回りのことを質問したり、答えたりできる A: 聞き手に配慮し、声の大きさ・速さ、表情に気をつけて話そうとする。	S: 自分や身近で簡単な事柄を簡単な語句や表現を用いて話せる T: 伝えたい内容を整理し、自分や身の回りのことを話すことができる A: 聞き手に配慮し、声の大きさ・速さ、視線に気をつけて話そうとする。	S: 文字を識別し、その読み方を発音できる T: 音声で慣れ親しんだ簡単な語句の意味がわかる A: 指でなぞりながら、声に出して読もうとする	S: 大文字・小文字が書ける書き方のルールがわかる T: 簡単な語句を書き写したり、見ながら書いたりできる A: 四線の書く位置に注意して文字を書こうとしている
4年	S: 発音を聞いてどの小文字かわかる簡単な語句・基本表現が聞き取れる T: 質問やその答えを聞き取れる A: 絵を手掛かりに聞き取ろうとする	S: 身近な物や場所、日時などが言える T: 自分の好きな物や場所・身近なことを聞いたり答えたりできる A: 相手に伝わる声で話そうとする	S: 基本的な表現を使って発表できる T: 作ったピザやパフェ、文具セットを見せながら紹介することができる A: 聞き手に伝わる声で話そうとする	S: 小文字の形に慣れ親しむ T: 小文字のクイズで音と形に親しみ、理解を深める A: 指さして発音しようとする	S: 小文字も使い名前を書ける T: 書くことで小文字の特徴に気づき、理解を深める A: 積極的に書こうとしている
3年	S: 発音を聞いてどの大文字かわかる身の回りの簡単な語句が聞き取れる T: 好きな色、動物、植物が聞き取れる A: 絵を手掛かりに聞き取ろうとする	S: 挨拶や自分の好きなものが言える T: 友達の様子や物の数、好きな物を聞いたり答えたりできる A: 積極的に友達と話そうとする	S: 簡単な表現を使って人前で話せる T: 作ったカードの紹介、実物や絵を使ってクイズができる A: 人前で物の紹介等をしようとしている	S: 大文字の形に慣れ親しむ T: 文字探し等のゲームを通して音と形に慣れ親しむ A: 指さして発音しようとする	S: 大文字で名前を書いている T: イニシャルカード交換に使うカードを作る A: 積極的に書こうとしている
2年	S: 推測しながら聞き、指示通り動ける T/A 英語の説明を積極的に聞いている	S: 身近な語句に関心を持って発音できる T/A 実物をイメージして発音している			
1年	S: ジェスチャーから意味を推測できる T/A 活動に楽しく参加している	S: 身近な語句を先生の真似をして発音できる T/A 楽しんで英語の発音をしている			


Can do list for junior high school in Ozora

Goal: 関心のある事柄について即興で伝えたり、日常的な話題や社会的な話題について、自分が考えたこと、感じたことやその理由などを英語で伝えられるようになるう！

3観点：知識・技能 ⇒ S 思考・判断・表現 ⇒ T 主体的に学習に取り組む態度 ⇒ A

Grade	聞く(はっきり話されれば)	話す		読む (簡単な語句・文)	書く (簡単な語句・文)	外部試験 (目安)
		【やり取り】(簡単な語句・文)	【発表】(簡単な語句・文)			
3年 後期	S: 必要な情報を聞き取れる T: 話の概要を捉えたり、短い説明の要点をつかめる A: 反応や質問する等、内容を理解して聞こうとする	S: 関心のあることを即興で話せる T: 自分の考え、気持ち、理由を伝えたり、質問に答えたりできる 簡単なテーマで議論できる A: 他者に配慮して話そうとする	S: 関心のあることを即興で話せる T: 読み聞きた内容の事実や自分の考え、気持ちを整理し、目的に合ったスピーチができる A: 他者に配慮して話そうとする	S: 必要な情報を素早く読み取れる T: 長めの文章の概要や要点を捉えることができる A: 要点を押さえ、一定のスピードで読もうとする	S: 事実や自分の考え、気持ちを整理し、まとまりのある分が書ける T: 読み書きした内容について、要点や自分の考えが書ける A: 考えを深めようと工夫している	CEFR A1 英検3級
3年 前期	S: 重要なことを意識して聞ける T: メモを取ったり、地図を見たりしながら要点をつかめる。 A: 話の内容を確認しながら聞こうとする	S: 言いたいことを表現できる T: 場に応じて自分が伝えたいことを工夫して表現できる A: 知らない単語は知っている単語を使って表現しようとする	S: 伝えたいことを表現できる T: PRしたいことを目的に応じて効果的に伝えることができる A: 伝える順番等の構成を工夫して表現しようとする	S: 必要な情報を読み取れる T: 長めの文章の概要や要点を大まかに捉えられる A: 未修語も前後の文から推測しながら読もうとする	S: 伝えたいことを正確に書ける T: 構成やつなぎ言葉を使ってまとまりのある文が書ける A: 友達と交流し、より伝わりやすい文にしようとしている	
2年 後期	S: 自然な英語が聞き取れる T: 空港アナウンスのポイント等を正確に聞き取れる A: ポイントを聞こうとする	S: 特別な場面のやり取りができる T: 電話やレストランでのやり取りがスムーズにできる A: 相手の回答に合わせて話そうとする	S: 説明や説得の仕方を理解する T: 客観的事実や具体的な理由を入れ、わかりやすく説明できる A: 相手に伝える工夫をしようとする	S: 本文に関する質問に答えられる T: 短い文章の概要や要点を捉えられる A: 既習表現を頼りに読もうとする	S: 経験したことを正確に書ける T: 事実や思いを整理して書ける A: 友達と交流し、より伝わりやすい文にしようとしている	CEFR A0 英検4級
2年 前期	S: 自然な英語がほぼ聞き取れる T: 天気予報の概要等を聞き取ることができる A: ポイントを意識する	S: 様々な場面の表現を理解する T: 場に応じた表現を知り、助けを借りながらやり取りできる A: 会話を繋げる言葉を使おうとする	S: やりたいこと等を伝えられる T: アイディアや経験、気持ち等をわかりやすく説明できる A: 発表の仕方を工夫しようとする	S: 本文から質問の答えを探せる T: 短い文章の概要や要点を大まかに捉えられる A: 絵や音声を頼りに読もうとする	S: 辞書等を参考にして、関心のあることを正確に書ける T: 自分の身の周りのことを書ける A: 既習事項を使おうとしている	
1年 後期	S: 人や物の特徴を聞き取れる T: インタビュー等が聞き取れる A: 話者に配慮して聞く	S: 設定場面での会話ができる T: 買い物や道案内等ができる A: 楽しんで会話しようとする	S: 既習文法を使ってスピーチできる T: 他人や物、自分のした事を紹介できる A: 既習表現を積極的に使おうとする	S: 一定の速度で音読できる T: 簡単な文の意味がわかる A: 英語らしい発音で読もうとする	S: 簡単な語句や文が書ける T: 自分がしている事を書ける A: 英文の決まりに気をつけている	英検5級
1年 前期	S: 既知の表現が聞き取れる T: 本文の概要が聞き取れる A: 話者を見て反応して聞く	S: 既習表現でやり取りできる T: 設定場面での2往復会話する A: 既習表現を多く使おうとする	S: クイズを使って発表できる T: 身近な人・物を使ってクイズができる A: 既習表現を多く使おうとする	S: 既習単語の発音ができる T: 簡単な文の意味が推測できる A: 発音を意識して読もうとする	S: 簡単な語句や表現が書ける T: 自分のことを書ける A: 綴りを意識して書いている	

- 授業参観や部活動体験を通して、中学校生活への見通しをもち、自己の成長に対する意欲を持てるようにする。
- 中学校教員による授業や学校説明を通して、不安感の軽減を図るとともに、期待感をもって入学できるようにする

実施時期	通年（年５～６回実施）																							
場所	体験学習・・・中学校（４回） 乗り入れ授業・・・小学校（１～２回）																							
対象	小学校６年生																							
内容	<p>【ステップ１】 ６～８月に１回（５～６校時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校を訪問し、中学校の授業を参観する。 ・中学校教員が学校説明を行う。 <p>【ステップ２】 ９～１０月に１回（５～６校時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校を訪問し、中学校教員による授業を体験する。 ・中学生が学校生活（学習、部活動、生徒会等）について説明する。 ・希望に応じて部活動を体験する。 <p>【ステップ３】 １１～３月に１～２回（１～２校時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・６年生が中学校に登校し、中学校教員による授業を体験する。 <p>【乗り入れ授業】 通年で１～２回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教員が小学校を訪問して授業を行う。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>段階</th><th>S 1</th><th>S 2</th><th>S 3 〈1〉</th><th>S 3 〈2〉</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>授業参観 学校説明(教員)</td><td>授業・部活体験 学校説明(生徒)</td><td>中学校へ登校 授業体験</td><td>中学校へ登校 授業体験</td></tr> <tr> <td>中学校訪問</td><td colspan="4"> 例) 中学校教員が各教科の授業を行う。 中学校の教室で、小学校教員が授業を行う。 音楽や図工の単元の導入を中学校教員が指導する。 ※学習指導は、小学校の教育課程に基づく内容で行う。 </td></tr> <tr> <td>乗り入れ</td><td colspan="4"> 例) 学芸会前に音楽教員が合唱または合奏を指導する。 体力テストや運動会前に体育教員が走り方等を指導する。 </td></tr> </tbody> </table>				段階	S 1	S 2	S 3 〈1〉	S 3 〈2〉		授業参観 学校説明(教員)	授業・部活体験 学校説明(生徒)	中学校へ登校 授業体験	中学校へ登校 授業体験	中学校訪問	例) 中学校教員が各教科の授業を行う。 中学校の教室で、小学校教員が授業を行う。 音楽や図工の単元の導入を中学校教員が指導する。 ※学習指導は、小学校の教育課程に基づく内容で行う。				乗り入れ	例) 学芸会前に音楽教員が合唱または合奏を指導する。 体力テストや運動会前に体育教員が走り方等を指導する。			
段階	S 1	S 2	S 3 〈1〉	S 3 〈2〉																				
	授業参観 学校説明(教員)	授業・部活体験 学校説明(生徒)	中学校へ登校 授業体験	中学校へ登校 授業体験																				
中学校訪問	例) 中学校教員が各教科の授業を行う。 中学校の教室で、小学校教員が授業を行う。 音楽や図工の単元の導入を中学校教員が指導する。 ※学習指導は、小学校の教育課程に基づく内容で行う。																							
乗り入れ	例) 学芸会前に音楽教員が合唱または合奏を指導する。 体力テストや運動会前に体育教員が走り方等を指導する。																							
参考資料	北海道教育委員会「小中一貫教育モデル地域及びモデル校取組事例」 https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/shochuikkankyouiku2.html																							

- 大空町らしい教育を進めるために必要な重点教科を設定し、義務教育９年間を通じて子供に必要な資質・能力を育む。

実施時期	通年
場所	各小学校・中学校
対象	小学校１年生～中学校３年生
内容	<p>【大空町独自の一貫性のある教育課程の編成】 重点教科を設定し、大空町らしい教育の実現を目指す</p> <p>【外国語教育】 認定こども園・小学校低学年から英語教育を導入するとともに、中学校まで系統的なカリキュラムを編成する。</p> <p>【総合的な学習の時間】 子供たちが郷土に誇りをもって、社会の一員として自立していくことができるよう、ふるさと教育の充実を図るとともに、学校間での連携・継続した取組を進める。</p> <p>【体育】 冬季スポーツなど、体育科で扱う内容を小中で系統的につなげて、継続的に体力づくりを進める。</p> <p>【育成を目指す資質能力の設定】 「何をするのか」だけでなく、「９年間で大空町の子どもたちにどのような資質能力を育成するのか」について共通理解を図り、各学校が足並みを揃えて取組を進める。</p>
参考資料	<p>北海道教育委員会「小中一貫教育モデル地域及びモデル校取組事例」 https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/shochuikkankyoku2.html</p>

- 小中学校9年間を見通した学習・生活規律を設定し、共通・一貫した指導をすることで、指導方針や生活環境の変化に戸惑うことなく学校生活を送ることができるようにする。

実施時期	通年
場所	各小学校・中学校
対象	小学校1年生～中学校3年生
内容	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校で共通・一貫した指導ができるよう、必要最小限の「めあて」を設定する。 ・児童生徒の発達の段階を踏まえて「めあて」を設定する <ul style="list-style-type: none"> ①小学校1・2年生 ②小学校3・4年生 ③小学校5・6年生・中学校1年生 ④中学校2・3年生 ・「家庭」「学校」での取組を区分して設定する。 <p>【生活のめあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭～「生活リズム」「身じたく」「メディアとのかかわり」 ・学校～「思いやりの心」「自分で考えて行動する力」「時刻を守る」 「整理整頓」「あいさつ」「返事」 <p>【学習のめあて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭～「準備」「宿題」「復習・予習・自主学习」 ・学校～「準備」「聞く」「伝える」「書く」
参考資料	<p>北海道教育委員会「小中一貫教育モデル地域及びモデル校取組事例」 https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/shochuikkankyoku2.html</p>

- 特別支援教育への専門性を全職員が深めるとともに、小中一貫した児童生徒の発達支援の連携を深め、切れ目のない支援を行える体制を構築・維持する。

実施時期	通年
場所	認定こども園・小学校・中学校・高等学校
対象	支援を必要とする児童生徒及び保護者
内容	<p>【共通視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級在籍の児童生徒のみならず、通常学級における支援が必要とされる全生徒を対象とする。 ○特別支援教育担当者のみならず、全職員が専門性を深め、適切な支援が行えることを目的とする。 ○学校という「環境」が、安心・安全な居場所となるよう環境調整・合理的配慮を行う。 ○管理職・特別支援教育部・生徒指導部・養護教諭・SC・関係機関等による校内チーム支援体制の機能強化と充実を図る。 <p>【取組例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級経営：保護者との定期的な面談による協働体制の構築 ○研修：特別支援教育に関する研修事業の開催及び各種研修会への参加奨励 ○校内研修：ユニバーサル・デザインを意識した授業改善 ○支援情報：ケース会議等による児童生徒の状況の情報共有と支援策 ○引継ぎ業務：学年間や異校種間での支援情報の引継ぎ強化
参考資料	「大空町の特別支援教育の充実～教職員のための『児童生徒発達支援』の視点～」



- 教員の専門性や経験を生かした指導により授業の質を高め、学習内容の定着を図る。
- 複数の教員で子どもたちを見守ることで、多面的な児童理解を図るとともに、個々の学力や学習状況に応じた指導の充実を図る。
- 中学校進学に対する不安の軽減を図り、中学校における教科担任制に順応できるようにする。

実施時期	通年
場所	小学校
対象	小学校中学年～高学年
内容	<p>【実施内容】 教員定数加配を活用した専科指導（算数）を実施するとともに、低・中・高学年ブロックの教員（含特支担任）が連携して一部教科の指導を行う「ブロック指導制」を実施する。</p> <p>【実施教科】 専科指導以外の教科については、学級担任の総授業時数の差が少なくなるよう配慮するとともに、中学校への接続、教材準備の軽重、指導経験、所有免許状（専門性）、学校行事との関連等を踏まえて選択する。</p> <p>【取組の具体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専科指導は、加配の目的を踏まえるとともに、算数科におけるＩＣＴ活用（デジタル教科書や電子黒板の活用、家庭学習におけるオンライン教材の活用等）を推進する。 ・低学年におけるブロック指導においては、発達の段階を考慮し、全ての時数ではなく一部の単元において専科指導や学級担任間の授業交換を実施する。 ・学級担任は専科指導の間、学級事務のほか、授業改善や人材育成をねらいとした他学級の参観を行う。
参考資料	<p>令和５年度小・中学校教育課程改善の手引き（北海道教育委員会）</p> <p>https://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/R05_tebiki.html</p>

幼小連携

幼小交流学习

- 幼児教育で育まれた資質・能力を小学校教育で伸ばす
- 期待と見通しを持って入学を迎えることができるようにする

実施時期	通年
場所	小学校
対象	認定こども園年長児 小学校１年生
内容	<p>通 年 学校行事の見学（運動会、マラソン、学芸会等）や 学校を目的地とした散歩の受け入れ</p> <p>１０月 年長児を小学校に招き、学校案内をする。</p> <p>１２月 生活科の授業に年長児を招く。</p> <p>２月 学校生活の動画資料（給食当番等）を提供する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参考資料	<p>幼児教育及び小学校教育関係者向けの参考資料（文部科学省）</p> <p>https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/mext_02697.html</p>

- 町内の児童生徒が一堂に会し、共通の芸術に触れることを通して、芸術文化に対する親しみと関心を深める

実施時期	9月下旬
場所	町内施設、各学校
対象	全学年
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽」と「演劇・影絵」等を隔年で鑑賞する。 ・小学校は2校が合同で実施する。 ・中学校、高等学校は3校が合同で実施する。 ・会場は、隔年で女満別地区、東藻琴地区で実施する。 ・令和7年度は、全学校が文化庁の「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（文化施設等活用公演）」を鑑賞する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参考資料	<p>学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（文化庁）</p> <p>https://www.kodomogetijutsu.go.jp/</p>



教職員
連携

授業参観

- 認定こども園、小・中学校、高等学校で実施する授業参観日や学校公開等に教職員が参加し、他校の教育内容や指導方法から学んだことを、学級経営や授業改善に生かす
- 発達段階に基づく児童生徒理解を深める

実施時期	通年
場所	認定こども園、小・中学校、高等学校
対象	教職員
内容	<p>・ 認定こども園、小・中学校、高等学校で実施する授業参観日や学校公開等の案内を各園・学校に配布する。</p> <p>・ 教職員は自由に参観する。</p> <p>・ 他校の教育内容や指導方法から学んだことを、学級経営や授業改善に生かす。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参考資料	

- 接続のある小学校・中学校の教員が合同で研修を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す
- 協働的な学びの在り方についての共通理解を通して、中一ギャップの解消を図る

実施時期	通年
場所	小学校または中学校
対象	教職員
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続のある小・中学校で実施する研究授業を参観する。 ・ 授業改善に向けたグループ協議を合同で行う。 ・ 各校の教務部と研修部が連携して日程調整や案内を行う。 ・ 小学校教員は、中学校教員とのかかわりを通して、専門的な知見からの指導方法を学ぶ。 ・ 中学校教員は、小学校における授業改善の在り方を学び、授業スタイルの段差の縮減に努める。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
参考資料	

- 学校評価において、小・中学校の評価基準や分析方法を統一させることで、教育活動の一貫性を確保し、全教職員の目指す方向性を一致させ、共通認識を持って学校改善に取り組む。

実施時期	通年
場所	各小学校・中学校
対象	小学校１年生～中学校３年生
内容	<p>〔共通の評価基準を策定〕 小中学校の教育活動に共通する基準を定める。学習成果や学校環境、学校行事などに対する評価項目を設定し、これを全教職員で共有する。</p> <p>〔分析方法や結果の表示を統一〕 Google フォームを活用し、同じ時期に系統性のある評価項目でアンケートを実施する。評価結果については同じ形式でまとめる。</p> <p>〔改善点の明確化と共有〕 評価結果に基づき、どの部分に改善が必要かを特定し、具体的な改善策を、各地区の小中学校共同で立案し共有する。</p> <p>〔改善策の進捗管理〕 実施した改善策が効果を上げているかどうかを定期的に確認し、進捗状況を報告し合う。改善の進展を教職員全体で共有することで、共通認識を強化する。</p>
参考資料	<p>北海道教育委員会「小中一貫教育モデル地域及びモデル校取組事例」 https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/shochuikkankyouiku2.html</p>


- 小中一貫教育をスムーズに進行させるために、日程や内容の調整、問題の解決等に当たる。
- P D C A のマネジメントサイクルを活用するとともに、各校の意見の集約、決定事項の周知等を行い、小中一貫教育を推進する。

実施時期	通年
場所	小学校・中学校
対象	教職員
内容	<p>【所掌事務】</p> <p>推進委員会は、次に掲げる事項を所掌するものとする。</p> <p>(1) 小中一貫教育の推進・拡充に関すること。</p> <p>(2) 小中一貫教育導入後の効果を検証すること。</p> <p>(3) その他小中一貫教育の推進に必要な事項に関すること。</p> <p>【組織】</p> <p>委員は、次に掲げる者をもって組織する。</p> <p>(1) 小中学校の校長、教頭及び教職員若干名</p> <p>(2) 学識経験を有する者</p> <p>(3) 大空町教育委員会指導主事</p> <p>(4) その他教育長が必要と認める者</p> <p>【会議】</p> <p>会議は委員長が招集し、座長を担う。委員長が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。</p> <p>【分科会】</p> <p>委員会に分科会を置くことができる。分科会は中学校区ごとに設置し、各校の校長・教頭及び教務、研修、生徒指導等各分掌の代表者で構成する。座長は両校長からの互選による。</p>
参考資料	

その他

地域との連携・協働（CS・PTA）

- 地域の外部組織（CS・PTA等）との連携・協働により「小中一貫教育」の充実を図る
- 「目指す子ども像」を共有し、“地域で子どもたちを育てる”意識を醸成する。

実施時期	通年
場所	小学校・中学校（認定こども園、高等学校）
対象	CS（学校運営協議会）及び各校PTA
内容	<p>・ 地区ごとに組織されているCS（学校運営協議会）においては、地域から見た「小中一貫教育」の課題を熟議し、学校経営に反映させる。</p> <p>・ PTAの主体性を維持しつつ、「小中一貫教育」で目指す子ども像を学校と保護者が共有し、PTAとして何ができるかを模索してもらう。</p> 
参考資料	